

# 空家等を活用した子育て世帯の住み替え促進事業

—No.21 戸田市—

## 【事業の目的】

「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、若い世代の転出を抑制するため、ライフステージに応じた理想的な住まい方の実現に向けて取り組んでいます。市内の空家等を活用し、若い子育て世帯のニーズに合った住環境の整備を進めることで、希望する出産や子育てを実現し、転出を抑え、定住化を図ることを目的としています。

## 【事業の内容】

子育てに対応可能な広さや安全性を備えた空家等の子育て世帯に紹介するため、所有者等とのマッチングを図る仕組みとして「戸田市住宅バンク」の創設や子育て世帯等の住み替えのための補助制度を創設します。

## 【事業年度】

平成29年度～平成30年度（2か年）

## 【予算額(千円)】

12,703千円（平成29年度～平成30年度）

うち 8,948千円（平成30年度）

## 【財源】

地方創生推進交付金（国）、一般財源（市）

## 【事業実施に至った背景・経緯】

戸田市では、平成27年10月に「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る人口ビジョン」を策定しました。戸田市は社会増減が激しく、特に、20代、30代の転出入が約6割を占め、子育て世代の純移動を見ると、25歳から34歳では、転入超過が弱まっており、35歳から49歳では、転出超過に転じてきています。

また、平成27年5月の空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、空家等の問題への関心は強くなってきています。

そこで、平成28年度に実施した「子育て世帯の住み替え意識調査」及び「空家等実態調査」の結果に基づき、今後、増加が見込まれる空家等の問題解消を目的として、子育て世帯等と空家等のマッチングを行うための住宅バンクや補助金制度を創設し、空家等が管理不全になることを未然に防止するとともに、子育て世帯の転出抑制を図ることとしました。

## 【事業のPRポイント】

- 住宅バンクについて登録物件周辺の小中学区マップの作成等、子育て世帯に必要な情報を掲載するなど、子育て世帯の住み替えに対する効果的な対応を図ります。
- 住宅バンク登録物件の購入者に対して、改修費用等に関する補助を行い、さらに、子育て世帯等一定の要件を満たした購入者に対しては補助金を上乘せすることで、流通及び定住化を促進します。
- 子育て世帯の希望する住環境を提供することにより、住み続けたいまちとしての魅力を高めます。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

<平成29年度、平成30年度>

- 市民や有識者等で構成された「戸田市空家等対策計画策定協議会」を設立し、空家等の利活用や適正管理に関する施策を盛り込んだ「戸田市空家等対策計画」を策定しました。
- 子育て世帯をはじめとした多くの方々に空家等の活用に関心を持ってもらうため、市内の建築士や県内の大学研究室と連携し、「子育て世帯向け空き家リフォームプラン展示会」を開催しました。

<今後の展開>

- 平成31年度からの子育て世帯等の住み替えのための「戸田市住宅バンク」の創設及び補助制度の創設や各種相談等への対応に向けて、平成30年度に各種制度設計を実施していきます。

〔 連絡先 〕

まちづくり推進課 建築審査・住宅担当

048(441)1800(内線334)